

みずなら

発行責任者
校長 高橋秀明

5

2学期のスタートにあたって

校長 高橋秀明

夏休みが終わり、全校生徒が元気に登校しました。一人一人が充実した夏休みを過ごしたことと思います。休み中も部活動等で多くの生徒が登校し、元気に活動する姿を見ることができました。また、大きな事故や怪我も無く、2学期のスタートを切れたことをうれしく感じています。

2学期は一番期間が長く、教育目標の具現化に向けた活動が多く行われます。始業式で、「1学期の経験や反省を生かし、改善を図っていくこと」について話をさせていただきました。特に、今後の課題として次の2つについて、話をさせていただきました。

1つ目は、自分の考えを外に積極的に示していく発信力。積極的な言動は、自分の力を伸ばすために大切ですが、まわりに影響を与え、お互いを刺激しあう力ともなります。一緒に高めあうことで、力は倍増され自分へと還元されます。是非頑張ってください。話をさせていただきました。

2つ目は、仲間を今以上に大切にすること。上春別中学校には、深刻ないじめは見られませんでした。相手に対する悪ふざけやからかいのようなものは見られました。自分の力を最大限に発揮するためには、安心して仲間と協力しあえる環境が何よりも大切です。

この2つの課題は、私たち職員も力を入れて取り組んでいかなければならない最重要課題です。生徒が生き生きと取り組むことができる教育環境の整備や、お互いを尊重し合い協力して取り組める環境づくりを目指し、職員一丸となってサポートにあたっていきたいと考えています。

また、7月にご協力いただいた学校評価アンケートについて、改善点を2点まとめました。1つ目が「コミュニケーション能力の育成」、2つ目が「悩みを相談しやすい友達や先生がいるか」です。

1つ目は、先に述べた課題（外への発信力）と重なる部分が大きく、生き生きと取り組むためには自信が必要であり、そのためには、活動に見通しを持てることが大切です。子どもが先の見通しを持てるような支援の充実を図って参ります。

2つ目の「悩みの相談」は、1学期以上に相談しやすい環境を整えていくことと、生活習慣チェックや、家庭学習の記録などで、把握できた実態に基づきタイムリーな支援の強化に努めて参りたいと考えています。



● 休み中のバレー部ジュニアキャンプの様子

2学期も連携強化のために、学校・学級便りやブログ等による情報発信に努めてまいります。実りの秋、そして冬へと歩む長い2学期ですが、保護者の皆様、地域の皆様のご支援をいただきながら生徒ための学校づくりを進めます。よろしくお願いたします。

◆▽● 教師を目指す4名が来校 ～スキルアップサマー～ ●△◆

夏休み中の18～20日、本校においてスキルアップサマーとして学習会を開催しました。今回は北海学園をはじめ、3つの大学から4名の学生がサポートに来てくれました。4名全員が教師志望だけに、生徒に向かう姿勢も積極的で、「今までで一番わかりやすい」等の声も聞かれました。学生の感想も「より教師になりたいという思いが強くなった」とか「もっと頑張ろうと思った」等の前向きのものでした（写真右）。4名の若者の意欲で、子ども達にもよい学びの機会となりました。



◆▽● 1学期の学校評価について ●△◆

7月に実施しました学校評価アンケートについて、その結果と今後の取組をお知らせします。

学校評価アンケートは職員・保護者・生徒の三者にアンケートを実施し、教育活動の取組状況についてA～Dの4段階で評価してもらいました。集計はA＝4点、B＝3点、C＝2点、D＝1点で集計し、平均を算出します。三者の評価で隔たりの大きい部分や三者とも低い部分を課題として、今後の学校改善に活かします。

【集計結果…職員】

領域	番号	質問内容	平均
目標	1	教育目標の具現化を意識し、生徒を生き生きとさせる教育活動を行っている。	3.00
	2	意思疎通が図られる中で、共働体制を意識した学校づくりが進められている。	2.90
学力	3	基礎基本を定着させるために、適切な教育課程編成や指導ができています。	3.13
	4	課題の提示やまとめ等に配慮しながら、生徒がわかりやすい授業づくりに努めている。	3.22
	5	授業を中心として、教育活動全般でコミュニケーション能力を育てる取組を進めている。	3.22
	6	総合的な学習では、子どもの意欲や主体的な学習態度を育てよう工夫している。	3.13
豊かな心	7	道徳授業等で、発達段階や実態に合わせた心の育成を進めることができています。	3.25
	8	教育活動全般で、いじめの予防や早期発見・早期対応を心掛けている。	3.22
	9	当番・係活動等で責任と自覚を持たせながら、進められるよう指導している。	3.11
	10	命の大切さや、相手を尊重し思いやる心を育てるための適切な指導がされている。	3.00
	11	社会のルールを守り、物事の判断が適切にできるよう情報提供等支援に努めている。	3.25
生徒理解	12	生徒との信頼関係を築き、相談しやすい体制を整えることができています。	3.00
	13	問題行動等を未然に防ぐために、日常的な観察を重視する等生徒理解に努めている。	3.38
	14	個々の特性を生かし、個を活躍させるための場を演出することができています。	2.88
	15	問題が起こった場合でも連携を図る中で、迅速に対応することができています。	3.00
危機管理	16	安全で快適な教育環境を整えるために、施設点検や避難訓練等の適切な指導が進められている。	3.22
	17	コンプライアンスの遵守を意識した自覚ある行動に努めることができています。	3.20
連携	18	学級便り・ブログ等で学校の教育活動や学級の様子を知らせることができています。	3.50
	19	保護者・地域の願いに応えるため、連携が密になるように努力している。	3.33
	20	適切な量の宿題を出し(5教科)、家庭学習を進める取組を行っている。	3.00

【集計結果…保護者】

領域	番号	質問内容	平均
目標	1	教育目標を意識させる中で、生徒を生き生きとさせる教育活動を行っている。	2.76
	2	先生方は一致協力して、行事や生徒指導に当たっている。	3.29
学力	3	学校では、学習の基礎基本を定着させるための、必要な手立てをとっている。	3.00
	4	学校では、生徒がわかりやすい授業づくりが進められている。	2.95
	5	学校では教育活動全体で、子どものコミュニケーション能力を育てる取組を行っている。	2.76
	6	総合的な学習では、子どものやる気や主体的な学習態度が育てられている。	2.90
豊かな心	7	学校では、子どもの心を育てるための指導が適切に進められている。	2.89
	8	学校は子どもの人権を守り、いじめの予防や早期発見・早期対応に努めている。	2.81
	9	学校での活動を通し、自分の責任や役割を果たす心を育てることができている。	2.95
	10	命の大切さや、思いやる心を育てるための適切な指導がされている。	2.81
	11	社会のルールや、物事の善し悪しの判断ができるよう適切な指導がされている。	3.05
生徒理解	12	保護者や生徒との信頼関係が築かれており、相談しやすい体制が整えられている。	2.81
	13	問題の未然防止に向け、必要な指導や相談がきめ細かく行われている。	2.67
	14	生徒一人一人の個性を生かし、子どもを活躍させる場をつくっている。	2.90
	15	問題が起こった場合でも家庭と連絡を取りながら、迅速な対応を進めることができている。	3.00
危機管理	16	安全で快適な教育環境を整えるため、施設整備や避難訓練等の適切な指導が進められている。	3.24
	17	子どものお手本となるべく、先生らしい行動・言動をとることができている。	3.00
連携	18	学級だより、ブログ等で、教育活動の様子を知らせることができている。	3.57
	19	参観日や学校行事等を通して、開かれた学校づくりを進めている。	3.43
	20	家庭学習を定着させるため、学校と家庭との連携が進められている。	2.81

【集計結果…生徒】

注) 生徒の番号は、職員・保護者の項目と対応するようにつけています。

領域	番号	質問内容	平均
目標	1	学校や学級目標、教育スローガン等を意識し、楽しく学校生活を送ることができている。	2.77
学力	3	学習を通して基礎的な学力が身についてきていると思う。	2.77
	4	授業では、先生が質問しやすく、わかりやすい授業をしてくれている。	3.17
	5	相手の立場になって聞いたり、自分の考えを相手に伝えるように言ったりすることを心がけている。	2.67
豊かな心	9	自分の役割を意識し、責任を持って行動することができていた。	2.93
	10	命の大切さや、いじめを無くし相手を思いやる心を意識することができた。	3.24
	11	社会のルールを守り、物事の善悪や判断ができるように努力している。	3.14
生徒理解	12	悩み等を相談しやすい友達や先生が学校の中にいる。	2.57
	13	生活面で、先生方は生徒のことを考え、きめ細かな指導をしてくれている。	2.79
連携	20	前の学年の時よりも宿題や家庭学習に、長い時間集中して取り組んでいる。	2.80

【集計結果から】

- (1) 三者共に比較的高い所で一致しているのは、「豊かな心」の11です。職員と保護者の場合は、「目標」の2、「生徒理解・危機管理・連携」の15～19です。
- (2) 比較的評価の差が大きい部分は、「学力」の5、「生徒理解」の12、13でした。生徒は1の質問では「学校は楽しいけれど、教育スローガンは特に意識していない」とか、5の質問を自分なりに厳しく受け止めているようでした。また13の「きめ細かな・・・」という表現に引っかかっている生徒もいるようでした。
- (3) 「生徒理解」12の生徒への質問内容は、「友達や先生」となっており、友達まで広げても相談しやすい相手がない現状を示しています。

【今後の取組について】

- (1) 「学力」5の「コミュニケーション能力の育成」の部分は、本校の研究主題にかかわる部分でもあり、放課後のスピーチ集会の改善や授業における発表場面での生徒への意識付け、安心して発表できる環境（ルール）づくり等を進めていきます。
- (2) 「生徒理解」12の「悩みの相談」については、対人関係が希薄になっているのは、大人社会にも見られる傾向です。ただし、学年が上がるにつれ、平均値は高くなっていますので、行事や学級活動等に意識して取組ませることで、学級の絆（きずな）づくりを進めていきます。
- (3) 「生徒理解」13の「問題の未然防止」について何よりも大事なのは、基本的な生活習慣の育成です。家庭と連携し、生活習慣チェックシート等でスマホやゲーム、テレビ等に生活を乱されないよう指導すると共に、学校でも全員が積極的に参加できる授業づくりを目指していきます。

また、定期的な各種調査やアンケートと教育相談活動をうまく連携させると共に、教師からのこまかな声かけをしていくよう心掛けて参ります。

始業式で生徒会長のAさんから、「2学期は集会の時の校歌を大きな声で歌いましょう。挨拶をする時には相手の方を見て、聞こえる声でしていきましょう。」という呼びかけがありました。これも今まで述べた課題と通じる部分があるように感じます。生徒と職員、保護者が同じ目標を持って、よりよい学校づくりを進めていけるよう、今後ともお力添えをお願い致します。

9月の行事予定

日	曜	内 容	バス
1	火	生活習慣チェック(4日迄)、アイヌ文化アドバイザー来校(2年)	15:50
2	水	職員会議	15:50
3	木	学級弁論(3年)、PTA役員会	15:50
4	金	委員会、学級弁論(2年)	15:50
5	土		**
6	日		**
7	月	スピーチ集会、学級弁論(1年)	15:50
8	火	柏の実学園訪問(3年)	15:50
9	水	交流給食(3・1年)、陶芸教室	15:50
10	木	3年学力テスト、白鳥号	15:50
11	金	委員会	15:50
12	土	とわの森第1回見学会	**
13	日	別海町駅伝大会	**
14	月	全校集会	15:50
15	火		15:50
16	水	指導主事来校、研究授業	14:25
17	木	中間テスト①、弁当の日	15:50
18	金	中間テスト②、委員会	15:50
19	土	管内バドミントン新人戦	**
20	日		**
21	月	敬老の日	**
22	火	国民の休日	**
23	水	秋分の日	**
24	木		15:50
25	金	委員会	15:50
26	土		**
27	日		**
28	月	全校集会、校内弁論大会	15:50
29	火	交流給食(1・2年)、別海高体験入学	15:50
30	水		15:50